「FOODEX JAPAN 2020 秋田県ブース」出展申込書

（募集団体：秋田県信用保証協会）

秋田県信用保証協会　殿

私は、貴協会の募集要項に定める出展者条件を充足しており「FOODEX JAPAN 2020 　秋田県ブース」への出展を申し込みします。

○企業概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 商号（屋号） |  | 代表者名 |  |
| 担当者役職 |  | 担当者名 |  |
| 住所 |  | | |
| TEL  FAX |  | 担当者  Eメール |  |

○申込するコース（いずれかに〇を記載ください）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1. 重点支援コース |  | 2. 通常支援コース |  | 3. 重点支援 ＞ 通常支援 |

※重点支援コース希望の方で、応募多数により選外となった場合、通常支援コースでの出

展を希望される方は上記３のコースへ○を記入ください。ただし、通常支援コースでの

出展を確約するものではありません。

○出展を希望する理由（現在の販売状況と課題など）

|  |
| --- |
|  |

○出展する商品について

イ）今回特に売り込みたい商品とその内容（商品名・概要・販売価格・ターゲット・セールスポイント等）

|  |
| --- |
|  |

ロ）バイヤーへのＰＲ手法等、出展にあたって工夫したい点

|  |
| --- |
|  |

ハ）生産可能数量と現在の販売数量との関係

|  |
| --- |
|  |

○これまでの商談会・展示会等への出展実績について

|  |
| --- |
|  |

※　必要に応じ行数を追加して記入して下さい。

　　本申込書をご提出いただいた事業者の方には、後日、選定審査会の参考とするため、パンフレットや試食サンプル等のご提供に関するお願いをご案内いたします。

※　ご記入いただきました内容については、「FOODEX JAPAN 2020 秋田県ブース」の出展者決定及び運営を目的に、運営支援団体内においてのみ共有し使用させていただきます。

記入例

「FOODEX JAPAN 2020 秋田県ブース」出展申込書

（募集団体：秋田県信用保証協会）

秋田県信用保証協会　殿

私は、貴協会の募集要項に定める出展者条件を充足しており「FOODEX JAPAN 2020 　秋田県ブース」への出展を申し込みします。

○企業概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 商号（屋号） | （有）ほしょう食品 | 代表者名 | 保証　太郎 |
| 担当者役職 | 営業課長 | 担当者名 | 秋田　花子 |
| 住所 | 秋田市旭北錦町1-47（秋田県商工会館）3Ｆ | | |
| TEL  FAX | 018-863-9011  018-863-9188 | 担当者  Eメール | [kikaku@cgc-akita.or.jp](mailto:kikaku@cgc-akita.or.jp) |

○申込するコース（いずれかに〇を記載ください）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1. 重点支援コース |  | 2. 通常支援コース |  | 3. 重点支援 ＞ 通常支援 |

※重点支援コースを希望の方で、応募多数により選外となった場合、通常支援コースでの

出展を希望される方は上記３のコースへ○を記入ください。ただし、通常支援コースで

の出展を確約するものではありません。

○出展を希望する理由（現在の販売状況と課題など）

|  |
| --- |
| ・新商品の開発に積極的に取り組んでいるが、既存の販売ルートでは実績を十分に確保できていない。  ・当社の○○○は地域で相応の知名度と実績を有しているが、マーケットの縮小から売り上げは頭打ちの状態にあり、大規模な商談会への出展を通じ、新たな販路の開拓につなげていきたい。 |

○出展する商品について

イ）今回特に売り込みたい商品とその内容（商品名・概要・販売価格・ターゲット・セールスポイント等）

|  |
| --- |
| 商品名：「ずん大福」  （単価90円、6個入り600円、12個入り1,200円、20個入り2,000円）  特　徴：“アンコ（小豆）”の代わりに“ずんだ（枝豆）”を用いた甘くない大福。秋田県を代表する農産品である“米”と未来のエース候補である“枝豆”とのコラボレーション。しょっぱい食味は意外性とインパクトに優れている。スーパーや量販店をターゲットに日常での“おやつ”として売り込みたい。 |

ロ）バイヤーへのＰＲ手法等、出展にあたって工夫したい点

|  |
| --- |
| ・地元契約農家から仕入れた安心安全な原材料を使用していること、  ・旬の短い“枝豆”を用いながら、独自の保存方法により通年製造を可能とした点、  ・主婦やＯＬ等、特に年配の女性からの評判は上々であり、地元商工会が開催した物産展で売上数量1位を獲得したこと、  ・当社は衛生管理にも積極的に取り組んでおり、今年秋田県版ＨＡＣＣＰ認証を取得していること、等をアピールしたい。  また、出展までの間にパッケージや入数も女性を意識して工夫し改良を加えていきたい。 |

ハ）生産可能数量と現在の販売数量との関係

|  |
| --- |
| 人員配置等既存製造ラインの調整により、1ケース10入りで日産1,000ケースまでの生産及び原材料確保が可能。現在の1日当たり販売数量は繁忙期でも200ケース程である。 |

○これまでの商談会・展示会等への出展実績について

|  |
| --- |
| 秋田県産食材マッチング商談会・・・２回（平成28年・29年）  秋田市食のマッチング商談会・・・１回（平成27年） |

※　必要に応じ行数を追加して記入して下さい。

　　本申込書をご提出いただいた事業者の方には、後日、選定審査会の参考とするため、パンフレットや試食サンプル等のご提供に関するお願いをご案内いたします。

※　ご記入いただきました内容については、「FOODEX JAPAN 2020 秋田県ブース」の出展者決定及び運営を目的に、運営支援団体内においてのみ共有し使用させていただきます。